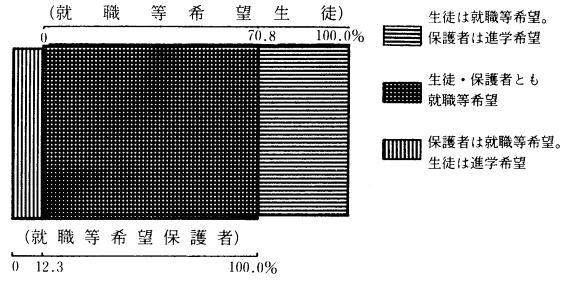


五、保護者の高等学校教育についての意識

図2 生徒・保護者間における進路意識



学校群Bにおいて就職を希望している生徒で、初めから就職を希望していた生徒と、初め進学希望もあったが事情があつて就職を希望した生徒は、それぞれ約半数を占めていたが、これらの生徒の保護者のうちで、子供の就職等を希望している保護者の意識を見たのが表2である。

表2によると、子供の今後の社会生活に上高等学校教育は「必要だと思ふ」と答えた保護者は、それぞれ約七割を占めている。

また、働きながらも勉強できる高

表2 保護者の高等学校教育についての意識

(単位：%)

区 分	高等学校教育			高等学校の定時制課程			高等学校教育は「必要だと思ふ」と答えた保護者で、進学困難な理由が解消したら		
	必要だと思ふ	必要だと思わない	わからない	よく知っている	よく知らない	わからない	進学を希望する	変わらない	わからない
「初めから就職を希望していた生徒」の保護者	72.7	20.5	6.8	75.0	22.7	2.3	18.2	51.5	30.3
「初め進学の希望もあったが事情があつて就職を希望した生徒」の保護者	75.0	8.3	16.7	77.8	16.7	5.5	40.8	48.1	11.1



中学校における進路指導 (荒海中)

学校の定時制課程のあることを「よく知っている」と答えた保護者は、それぞれ約七割強である。

次に、高等学校教育を必要と答えた保護者について、進学困難な理由が解消したとしたら進路希望はどうなるかを見ると、「初め進学希望もあつたが事情があつて就職を希望した」と答えた生徒の保護者では、「子供の就職を希望している保護者の約四割が「進学を希望する」で占められている。

その主な解消理由は、「高等学校の募集定員が増え、試験に合格する可能性が大きくなった場合」、「企業誘致や新しい工場などができ、近くに働き口が

表3 保護者の進路に関する要望

(単位：%)

学校に対する要望	学校群A		学校群B		教育委員会に対する要望	学校群A		学校群B	
	進学希望	就職等希望	進学希望	就職等希望		進学希望	就職等希望	進学希望	就職等希望
補習授業をもっとやってほしい	42	46	23	23	募集定員を増やしてほしい (高校増設含む)	58	60	46	46
もっときびしく教えてほしい	35	38	26	26	学校間格差 (特に有名校との差) をなくしてほしい	60	50	45	45
能力別に指導してほしい	29	27	21	21	父母負担を軽減してほしい	44	49	50	50
就職希望の生徒も大事にしてほしい	13	20	62	62	私立学校を充実してほしい	9	8	9	9
進路相談をたびたびやってほしい	25	24	18	18	通学区を広げてほしい	6	10	21	21
個人指導をやってほしい	22	22	21	21	通学区を細分してほしい	3	4	3	3
その他	7	1	2	2	その他	1	1	1	1

注 要望を二つまであげた回答者数の比率である。

できて出稼ぎ労働などしなくともよくなった場合」等である。

六、保護者の進路に関する要望

保護者の進路に関する要望は表3に示すとおりである。